

UBS ブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)

追加型/海外/債券/自動けいぞく投資適用



ファンドの特色

- 主として、ブラジル・リアル建て債券に投資を行うファンドです。
- マザーファンドの運用にあたっては、BTGパクチュアルが運用を行います。

資金動向、信託財産の規模、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※当レポートにおける分配金については全て課税前としております。また、基準価額の記載については全て信託報酬控除後としております。

運用実績

ファンドデータ

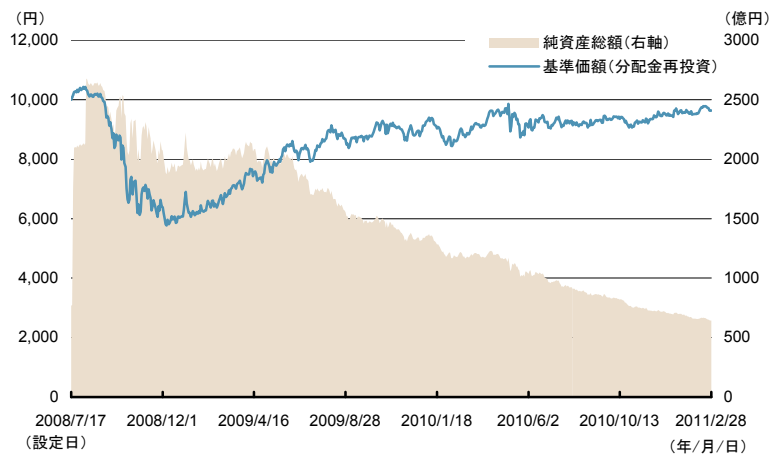
基準価額	7,734円
純資産総額	641.9億円
設定日	2008年7月17日
信託期間	2008年7月17日から 2018年11月20日まで
決算日	原則として毎月20日 (休業日の場合は翌営業日)

分配金実績 (1万口当たり、課税前)

決算日	分配金額
2010年10月20日	55円
2010年11月22日	55円
2010年12月20日	55円
2011年1月20日	55円
2011年2月21日	55円
設定来累計	1,630円

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

基準価額(分配金再投資)の推移(設定~2011年2月28日)



基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.37%	3.02%	5.24%	10.17%	—	-3.73%

※基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。

※騰落率は各応答日で計算しています。

※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。

※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

ポートフォリオの状況

資産構成比

	種別	構成比
ブラジル国債	割引債	59.0%
	固定利付債	29.3%
	インフレ連動債	11.7%
	国庫金融債	0.0%
	合計	100.0%

※構成比は、現地月末ベースの、マザーファンドの債券評価額合計に占める割合です。

ファンドの特性

平均最終利回り	12.53%
平均格付け*	BBB+
修正デュレーション	2.05年

※ファンドの特性は、現地月末ベースの、マザーファンドについてのデータです。

※組入れ資産を格付け別に集計し、加重平均により算出しています。

原則としてS&Pの格付けを採用しています。

平均格付とは、評価基準日時点でファンドが保有している有価証券に係る信用格付であり、ファンドに係る信用格付ではありません。

組入れ上位銘柄

	銘柄名	最終利回り	償還日	構成比
1	割引債	12.73%	2012/07/01	33.7%
2	割引債	12.11%	2011/07/01	15.3%
3	固定利付債	12.66%	2014/01/01	14.0%
4	インフレ連動債	12.54%	2015/05/15	9.3%
5	固定利付債	12.54%	2012/01/01	9.0%
6	割引債	12.59%	2015/01/01	7.6%
7	固定利付債	12.59%	2015/01/01	6.4%
8	割引債	11.64%	2011/04/01	2.5%
9	インフレ連動債	12.29%	2017/05/15	2.4%
10	-	-	-	-

※構成比は、現地月末ベースの、マザーファンドの債券評価額合計に占める割合です。

組入銘柄数

9銘柄

ブラジルの債券・為替市況

2月の当ファンドの基準価額は、ブラジルレアル建て国債市場の利回り低下とブラジル・レアルが対円での上昇に伴い、1.37%の上昇(課税前分配金再投資)となりました。

市場概況:

2月のブラジル・レアル建て国債市場は、中期・長期債券の利回りが低下した一方で、短期債券の利回りは上昇し、長短金利差が縮小する展開となりました。月の中旬には、12月のブラジルの鉱工業生産が市場予想を大きく下回ったこと、中国の利上げに伴い中国の景気加速に歯止めがかかることが懸念されたことから、ブラジル国債の利回りは低下しました。その後、ブラジルにおいてインフレが加速したこと、中国の1月の貿易統計が堅調だったことなどから、ブラジル国債の利回りも上昇しましたが、その後ブラジルの12月の国内総生産(GDP)の月次統計の内容が弱含んでいたことから利回りは再び低下し、一進一退の展開となりました。月の下旬には、足元のインフレ動向から、利上げペースが加速されるのではないかと見方が市場で広まり、特に短期債やインフレ連動債の利回りが上昇しました。期全体を通じては、ブラジル債券の利回りは概ね前月末の水準を下回る展開となりましたが、短期債券の利回りは前月比で上昇し、結果、長短金利差が縮小しました。為替市場では、前月末の48円台の水準から、月初49円台まで上昇し、その後も一時50円台での推移が続きましたが、月末に再び49円台まで低下して月を終える展開となりました。

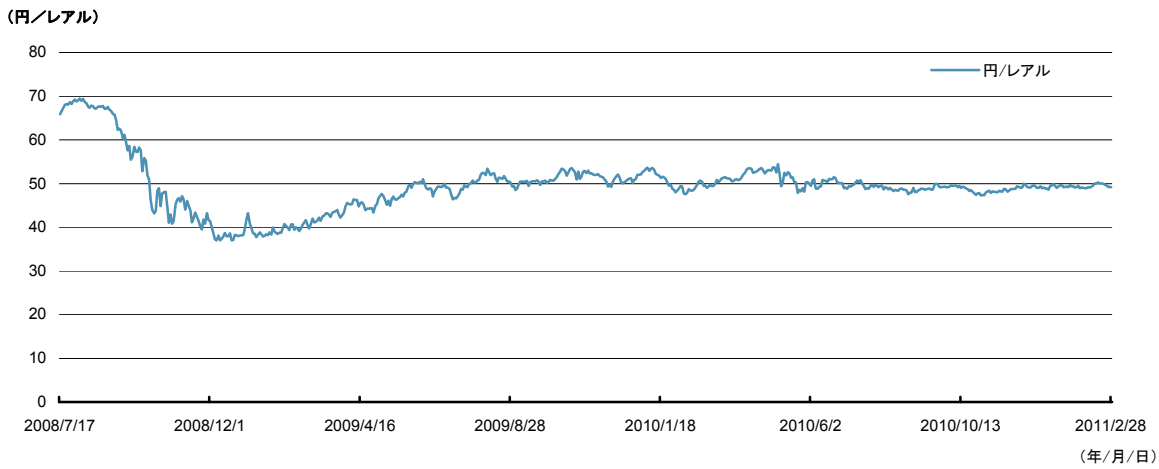
※文中の為替レートはわが国の対顧客電信売買相場の仲値を参照しています。

運用概況と今後の方針:

ブラジルの2010年の実質GDP成長率は7.5%となりました。ブラジル経済は、今後もブラジル国内の内需成長とコモディティ需要の高まりに支えられた安定成長が見込まれており、ブラジル・レアルも中長期的には堅調に推移していくと予想されます。当ファンド運用チームでは、ブラジルの政策金利は2011年末までに12.25%に引き上げられると予測しています。市場ではより加速したペースで利上げが進むとの見方もありますが、政府が財政赤字の改善に向けての対策を強化していること、インフレ抑制策の手段としては金融機関への規制強化などを通じた金融引き締め(マクロ・プルデンシャル措置)も利上げとあわせて行われる見通しであることなどから、現行ペースでの段階的な利上げが行われると予想しています。ブラジルにおける中長期的なインフレ見通しが高まっているため、長期債券の利回りが短期的にはより強い上昇圧力にさらされる可能性があると考えています。ポートフォリオにおいては、引き続き1-3年の年限の債券への投資比率を高く維持しています。

ご参考情報

ブラジル・リアル(対円)の推移(設定～2011年2月28日)



ブラジル・リアル(対円)の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
騰落率	0.43%	0.74%	2.25%	0.31%	—	-25.38%

※為替レートはわが国の対顧客電信売買相場の仲値です。

ファンドの主なリスク

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動きによる影響(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を受けますが、これら運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドにかかる主なリスクは次の通りです。ただし、すべてのリスクについて記載されているわけではありません。

1. 公社債に関する価格変動リスク

当ファンドは実質的に公社債への投資を行います。

公社債の価格は、主に金利の変動(金利変動リスク)および発行体の信用力の変化(信用リスク)の影響を受けて変動します。

公社債の価格が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

公社債の価格の変動幅は、債券の償還までの残存期間、発行体の信用状況などに左右されます。

2. カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、運用方針に沿った運用が困難となったりする場合があります。

なお、当ファンドが実質的に投資を行うブラジルの債券投資には、一般的に先進国と比較して、「格付けが低い場合があること」、「経済状況および政治的、社会的な変化の度合いおよび速度が大きい傾向にあること」、「流動性が低く、制度、インフラストラクチャーが未発達であること」、「企業等の開示に関する正確な情報確保ができないこと」などのリスクおよび留意点があります。

3. 為替変動リスク

外貨建資産を円貨ベースにした場合、その資産価値は、為替レートの変動により影響を受けることになります。

為替レートは短期間に大幅に変動することがあります。

したがって、為替の変動に伴い、当ファンドの基準価額が変動する可能性があります。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

購入単位	1万円以上1円単位または1万口以上1万口単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 (購入代金は、原則として購入申込受付日から起算して6営業日目までに販売会社にお支払いいただきます。)
換金単位	1円単位または1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	販売会社の営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
購入・換金不可日	サンパウロ証券取引所もしくはサンパウロの銀行またはニューヨークの銀行の休業日と同日の場合には、購入、換金の申込の受付は行いません。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金申込の受け付けを中止することおよびすでに受け付けた購入・換金の申込みを取消することがあります。
信託期間	2008年7月17日～2018年11月20日
繰上償還	純資産総額が30億円を下回ることとなったとき、信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、ファンドが繰上償還となることがあります。
決算日	[毎月分配型] 原則として毎月20日 [年2回決算型] 原則として毎年5月20日および11月20日 ※決算日が休業日の場合、翌営業日が決算日となります。
収益分配金	[毎月分配型] 毎月(年12回)の決算時に収益配分方針に基づいて分配を行います。 [年2回決算型] 年2回の決算時に収益配分方針に基づいて分配を行います。 ※分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度および配当控除の適用はありません。

ファンドの費用

当ファンドの購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

■ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額(購入申込受付日の翌営業日の基準価額)に3.675%(税抜3.5%)の率を乗じて得た額
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して0.3%を乗じて得た額

■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に年1.6275%(税抜年1.55%)の率を乗じて得た額 ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。
その他の費用	監査費用および法定手続き(書類の作成、印刷、交付等)に関する費用など(日々の純資産総額に対して上限年率0.1%(税込))を間接的にご負担いただく場合があります。 ※原則として、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 信託財産に関する租税(ブラジル市場における金融取引税(IOF)を含みます。)、組入有価証券の売買委託手数料、外国での資産の保管費用などが、原則として費用発生都度、ファンドから支払われます。 ※ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合等には、税率および取扱いの変更になることがあります。 ※信託財産の規模、取引量等により変動しますので、事前に金額および計算方法を表示することができません。

投資者の皆様にご負担いただく手数料などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの関係法人

委託会社	UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号 加入協会: 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、日本証券業協会
受託会社	野村信託銀行株式会社
投資顧問会社	BTGパクチュアル・アセット・マネジメント
販売会社	野村證券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号 加入協会: 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会

本資料はUBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社(以下、「弊社」といいます。)が運用状況に関する情報提供を目的として作成した資料です。本資料に記載された運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見直し等は本資料の作成時点での弊社の見解であり、将来の市場の動向等を保証するものではありません。また、将来、予告なしに変更される場合もあります。投資信託は値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本は保証されているものではありません。投資信託は預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護基金の保護の対象ではありません。また証券会社以外でご購入頂いた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。本ファンドのご購入に際しては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断下さい。